






SPICE & HERB

第108期　事業のご報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

エスビー食品株式会社








株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。

ここに当社第108期（2020年４月１日～2021年３月31日）の事業の概況と決算のご報告を申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続きました。昨年5月の緊急事態宣言解除後は、徐々に経済活動が再開されておりましたが、本年１月に緊急事態宣言が再び発出されるなど、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少等を背景として外食需要が低迷する一方、内食需要が高まるなど、消費行動や市場構造に変化が生じており、先行きへの不安によるお客様の節約志向などと併せ、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社および連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、企業理念・ビジョンのもと、昨年４月より開始いたしました第２次中期経営計画に基づき、「地の恵み スパイス＆ハーブ」を核とした事業活動を推進するとともに、社会環境の変化やお客様のニーズの多様化への対応に全社一体となって取り組んでまいりました。

また、前期より新型コロナウイルス感染症への対応を目的として対策本部を設置し、感染予防・拡大防止に向け対策を徹底し、従業員の安全確保を最優先とした対応を進めますとともに、生産・物流の現場におきましては、衛生管理と感染リスクの対策を徹底の上、継続して製品の安定的な生産・供給に努めてまいりました。

販売面におきましては、当期は新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要や手作り志向の高まりなどから、食料品事業におきまして業務用製品が減少する一方で、家庭用製品が増加する状況が続きました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、食料品事業におきまして、家庭用製品を中心に香辛調味料グループや、スパイス＆ハーブグループが伸長いたしましたことから、前期比16億77百万円増の1,142億55百万円（前期比1.5％増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加え、引き続き原価低減に努めたことや、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業環境の変化により、プロモーション活動費用や販売活動費用が減少いたしましたことから、営業利益は前期比22億９百万円増の94億48百万円（同30.5％増）、経常利益は前期比22億61百万円増の93億83百万円（同31.8％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比11億66百万円増の66億52百万円（同21.3％増）となりました。

なお、当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年３月31日）等を適用しております。また、収益認識に関する会計基準等の適用につきましては、収益認識に関する会計基準第84項に定める原則的な取扱いに従って、新たな会計方針を過去の期間の全てに遡及適用しております。

当連結会計年度における当社グループの設備投資は、上田・東松山・宮城の当社３工場および子会社における製品の安全・安心対策や生産性向上および供給体制の強化を目的とする生産設備の更新・改良により、総額

41億６百万円の投資を行いました。

食料品事業においては、当社宮城工場における生産能力増強のための設備投資などにより38億13百万円、また調理済食品においては、株式会社ヒガシヤデリカの生産設備更新・改良により２億92百万円の設備投資を行いました。

また、当連結会計年度中に、増資あるいは社債発行による資金調達は行っておりません。

今後の経済環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が、国内外の経済・社会活動に大きな影響を及ぼしており、厳しさは依然として続いていくと予想されます。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないことによるお客様の節約志向の高まりやニーズの多様化、内食需要や手作り志向の高まりといった消費行動や市場構造の変化への対応、また安全・安心な製品の安定供給などが求められるものと思われます。

当社グループといたしましては、中期経営計画の各施策に引き続き取り組むなかで、さまざまな環境変化や、お客様のニーズの変化を的確にとらえて柔軟かつスピーディに対応していくことで、食品メーカーとしての使命を果たすとともに、常に新たな価値を提供し続けてまいります。そして、理念とビジョンの実現に向けて、当社グループの強みを伸ばし、ブランド価値を高めていくなかで、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

また、事業を通じてＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の達成に寄与することを目指し、さまざまな活動に継続して取り組んでまいります。具体的には、サステナビリティ推進の実行力強化に向けて、ＳＤＧｓの推進機能を担う専門部署および部門横断型の「サステナビリティ委員会」を設置し、社会・環境に配慮した原料調達や商品開発、企業と従業員がともに成長できる関係構築などに全社で取り組んでおります。

コーポレート・ガバナンスにつきましては、執行役員制度のもと、取締役と執行役員の役割を明確にすることで、意思決定と業務執行のスピードアップを図り、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応いたしますとともに、取締役会の実効性を高めるための取組みを継続して進めてまいります。また、当社グループ全体の内部統制の充実を図るとともに、企業活動を取り巻くさまざまなリスクに対しては「リスクマネジメント委員会」を中心として、継続的に管理体制を強化してまいります。

このような取組みにより、ブランド価値を高めていくなかで、さらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜わりますようお願い申しあげます。

2021年６月



代表取締役社長

小形 博行

食料品事業

売上高　1,009億47百万円
前期比　4.6%増

スパイス&ハーブ

売上高299億99百万円(前期比15億81百万円増)

ラインアップが豊富な「SPICE&HERB」シリーズをはじめとする洋風スパイスに加え、シーズニングスパイスが「S&Bシーズニング」シリーズや「マジックソルト」の増加などにより、引き続き伸長いたしました。



即　席

売上高322億91百万円(前期比5億27百万円減)

主力ブランドの「ゴールデンカレー」が引き続き堅調に推移いたしますとともに、昨年2月発売の「本挽きカレー」が寄与いたしましたが、業務用製品や「とろける」シリーズが減少いたしました。



香辛調味料

売上高408億66百万円(前期比55億86百万円増)

中華調味料の「李錦記」ブランド製品はオイスターソースやコチュジャンなどの基礎調味料が大きく伸長いたしました。チューブ製品は、引き続きお徳用タイプが伸長いたしますとともに、「本生」シリーズも順調に推移いたしました。



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号　2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首より適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。
また、食料品事業内の各製品区分別の売上高は出荷ベースのため、その合計は食料品事業の売上高と一致いたしません。

インスタント食品その他

売上高272億49百万円
（前期比2億77百万円減）

「まぜるだけのスパゲッティソース」シリーズや「予約でいっぱいの店」シリーズなどのパスタソースに加え、レトルト製品では「どんぶり党」シリーズが増加いたしましたものの、業務用カレーが大きく減少いたしました。





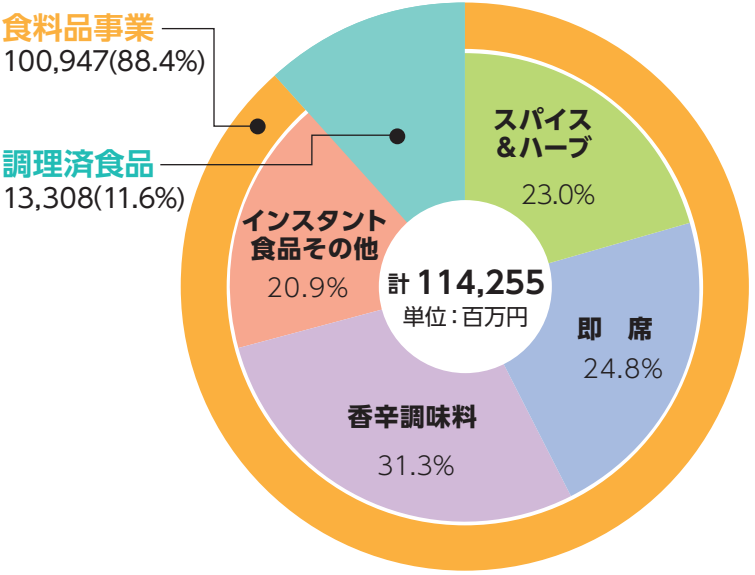


調理済食品

売上高　133億8百万円
前期比　17.2％減

調理麺が堅調に推移したものの、パンなどが減少したことに加え、前期の第２四半期に一部工場を事業譲渡いたしましたことから、前年実績を下回りました。

連結売上高構成比



※食料品事業内の各製品区分別の売上高構成比は、食料品事業の売上高（出荷ベース）を100%とした場合の売上高構成比です。

「パウダールウ」総合プロモーション展開と「本挽きカレー」の各賞受賞

＜総合プロモーション展開＞

当社では、スパイスから作る専門店のような本格カレーを家庭で再現できる「本挽きカレー」、サッと溶けてふわっと香る水無し調理で簡単・便利な「ドライキーマカレー」、化学調味料無添加で手作りのおいしさにこだわった「栗原はるみのクリームシチュー」をラインアップするパウダールウ製品に関して、より多くのお客様に知っていただけるよう、TVCMや特設サイトの開設をはじめ、さまざまなプロモーションを展開しています。







1. TVCMにおける訴求

当社独自の特許技術「パウダールウ製法」によって実現した、素材のおいしさが活きた今までにない本格的な香りと味わいを「この半世紀に一度の大発明(注)」と講義風に紹介し、今の時代に合った新しいルウであることをわかりやすく伝えています。

(注)当社史上







2. WEBサイトなどにおける訴求

「パウダールウはS＆B」をキャッチコピーとして、特設サイトやSNSによる情報発信により、パウダールウの魅力やおいしさの秘密をお伝えすることで、各ブランドの認知や理解促進を図ります。



＜「本挽きカレー」の各賞受賞＞

2020年2月に発売した「本挽きカレー」が、食品業界における新しい発展の原動力となった技術と実績が評価され、日本食糧新聞社が制定する第34回新技術・食品開発賞と第39回食品ヒット大賞「優秀ヒット賞」を同時に受賞しました。





第34回(令和2年度)

今後も、「パウダールウ」の魅力をお伝えする取組みを継続し、即席市場の活性化を図っていきます。

※「パウダールウ」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。
(https://www.sbfoods.co.jp/brand/special/powderroux/)

「子育て支援」の推進

当社では、子育て中の社員をはじめとする多様な社員が主体的な理想を持って活躍できる環境整備を推し進めています。働く「場所」と「時間」を各自がより柔軟に選択することができる、“新しい働き方”の推進にも力をいれ、各自が生産性を最も高められる働き方を自律的にデザインできるよう、利用日数制限を設けない在宅勤務制度や、コアタイムを設けないフレックスタイム制の運用を行っています。

このような取組みを進めるなか、当社は2021年1月に厚生労働省から、高い水準での子育て支援に取り組む企業として、「プラチナくるみん」の認定を受けました。出産・育児に関する制度や利用実例の周知、育児休業取得者のキャリア支援などを継続的に行い、2014年、2017年に2回の「くるみん認定(注)」を受けておりますが、男性の育児休業取得率や、出産後の在職率などの特例認定基準を満たすなど、より高い水準の取組みを行ったことから、今回「プラチナくるみん」の認定を受けるに至りました。

今後も、社員一人ひとりがそれぞれの能力や個性を最大限に発揮できるよう、取組みを進めていきます。

(注)「くるみん認定」とは、厚生労働大臣より受けることのできる、「子育てサポート企業」の証です。
より高い水準の取組みを行った企業が、「プラチナくるみん認定」を受けることができます。

業務用のお客様向け情報サイト公開

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで、業務用市場では展示会をはじめ対面での商談が減ってきており、従来のように直接お客様に有益な情報をお届けする機会が減少しております。そのようななか、いつでもどこでもお客様に情報をお届けするツールとして、業務用のお客様向け情報サイト「S＆B 業務用商品 オンライン提案会」を2020年12月1日に当社WEBサイトに公開しました。

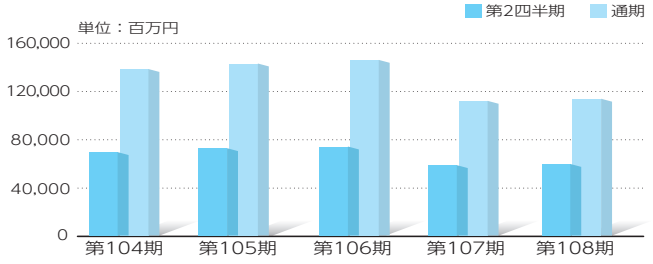
主なコンテンツとしましては、2020年に発売40周年を迎えた「ディナーカレーフレーク」や、同年に発売70周年を迎えた「赤缶カレー粉」などの商品を動画で紹介しているほか、スパイス＆ハーブを使った多彩なメニュー、旬の食材や行事に合わせた月ごとのおすすめメニューを提案するなど、メニュー開発に役立つ内容となっています。

「地の恵み スパイス＆ハーブ」を根幹とした当社ならではの情報発信を行うとともに、今後も社会の変化・多様化に対応した商談シーンを創出し、業務用のお客様のメニュー開発サポートや課題解決に貢献していきます。

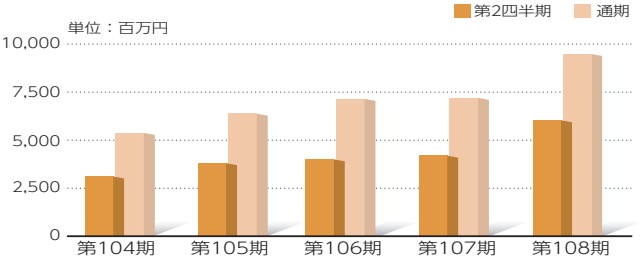


業績の推移(連結)

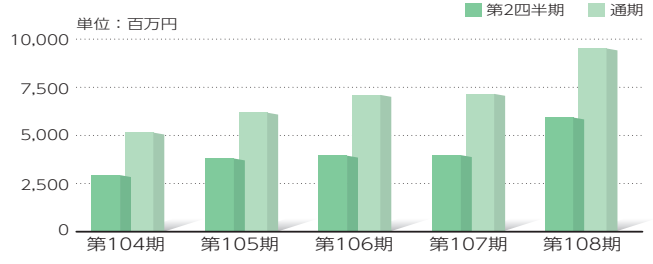
▶ 売上高



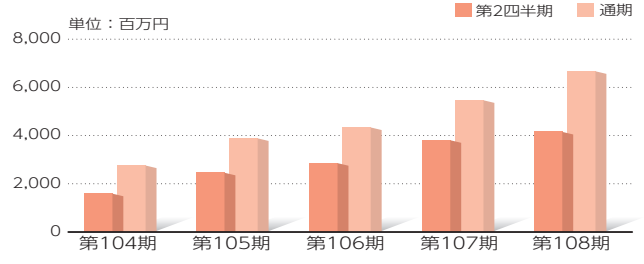
▶ 営業利益



▶ 経常利益



▶ 当期純利益



区　　分	第104期 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)	第105期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	第106期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	第107期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	第108期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高（百万円）	137,907	142,396	145,160	112,578	114,255
営業利益（百万円）	5,364	6,389	7,154	7,239	9,448
経常利益（百万円）	5,122	6,189	7,071	7,121	9,383
当期純利益（百万円）	2,745	3,886	4,317	5,485	6,652
1株当たり当期純利益（円）	422.97	611.96	339.96	431.92	523.78
純資産（百万円）	36,667	40,272	43,622	47,679	55,137
総資産（百万円）	104,763	103,045	109,532	120,470	125,410

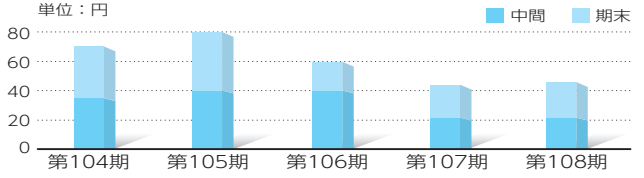
(注1)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号　2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首より適用しております。第107期の業績につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。
(注2) 2018年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。第106期の1株当たり当期純利益は、第106期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

配当について

当社では、今後の事業展開に向けた投資のための内部留保の充実を図りつつ、業績に裏付けられた成果を、安定的な配当として維持、継続することを基本方針としています。第108期の配当金は、中間配当金1株当たり22円、期末配当金1株当たり24円となりました。

(注)第106期(2018年12月1日付)に、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。

▶ 1株当たり年間配当金



財務諸表(連結)

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当連結会計年度 (2021年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	**66,634**	**71,790**
固定資産	**53,836**	**53,619**
有形固定資産	41,331	40,899
無形固定資産	884	854
投資その他の資産	11,620	11,866
資産合計	**120,470**	**125,410**
[負債の部]		
流動負債	**48,187**	**45,810**
固定負債	**24,603**	**24,462**
負債合計	**72,791**	**70,273**
[純資産の部]		
株主資本	**45,779**	**51,925**
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	41,629	47,776
自己株式	△2,931	△2,932
その他の包括利益累計額	**1,900**	**3,211**
その他有価証券評価差額金	1,366	2,575
土地再評価差額金	862	862
為替換算調整勘定	1	16
退職給付に係る調整累計額	△330	△243
純資産合計	**47,679**	**55,137**
負債純資産合計	**120,470**	**125,410**

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	**112,578**	**114,255**
売上原価	82,143	81,847
売上総利益	**30,434**	**32,408**
販売費及び一般管理費	23,195	22,959
営業利益	**7,239**	**9,448**
営業外収益	477	435
営業外費用	594	500
経常利益	**7,121**	**9,383**
特別利益	1,734	382
特別損失	1,635	477
税金等調整前当期純利益	**7,220**	**9,288**
法人税、住民税及び事業税	1,932	2,628
法人税等調整額	△197	7
当期純利益	**5,485**	**6,652**
親会社株主に帰属する当期純利益	**5,485**	**6,652**

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	**12,158**	**11,313**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△11,215**	**△6,575**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**3,109**	**△1,317**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△11**	**50**
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	**4,040**	**3,470**
現金及び現金同等物の期首残高	**17,984**	**22,025**
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	**−**	**67**
現金及び現金同等物の期末残高	**22,025**	**25,563**

※1　財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
※2　「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号　2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首より適用しております。前連結会計年度の財務諸表につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

会社情報

会社概要 (2021年3月31日現在)

- 商号　エスビー食品株式会社
- 本社所在地　東京都中央区日本橋兜町18番6号
- 設立年月日　1940年4月5日(創業1923年)
- 資本金　1,744百万円
- 従業員数　1,465名
- 主要な事業内容　スパイス&ハーブ(純カレー、コショー、洋風スパイス、シーズニングスパイスなど)、即席(ゴールデンカレー、フォン・ド・ボー ディナーカレー、とろけるカレー、濃いシチューなど)、香辛調味料(本生 本わさび、おろし生しょうが、中華など)、インスタント食品その他(おでんの素、レトルトカレー、パスタソースなど)の製造販売

役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役社長	小形博行	上席執行役員	弓部重明
常務取締役	島田和典	執行役員	鎌田典明
常務取締役 首席執行役員	池村和也	執行役員	佐竹良昭
常務取締役	田口裕司	執行役員	成沢智仁
取締役	山崎明裕	執行役員	坂本和彦
取締役 上席執行役員	小島和彦	執行役員	伊藤重義
取締役 執行役員	加治正人	執行役員	大久陽子
社外取締役	谷　修	執行役員	金子　功
社外取締役	広瀬晴子	執行役員	山﨑崇弘
社外取締役	大嶽佐由美	執行役員	杉田雅彦
監査役(常勤)	西邨正敏	執行役員	渡邊泰一郎
社外監査役	葛山康典	執行役員	横井　実
社外監査役	松家　元		
社外監査役	鵜高利行		

株式の状況 (2021年3月31日現在)

- 発行可能株式総数　35,200,000株
- 発行済株式の総数　13,954,234株
- 単元株式数　100株
- 株主数　7,609名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
峯栄興業株式会社	1,218千株	9.59%
山崎兄弟会	1,200	9.45
株式会社三菱UFJ銀行	628	4.94
農林中央金庫	628	4.94
株式会社きらぼし銀行	489	3.85
セコム損害保険株式会社	352	2.78
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	351	2.77
大日本印刷株式会社	344	2.71
日本生命保険相互会社	325	2.57
第一生命保険株式会社	248	1.96

(注) 自己株式1,254千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

主な事業所 (2021年6月29日現在)

- 事務所および工場

名称	所在地	名称	所在地
本社	東京都	上田工場	長野県
八丁堀ハーブテラス	東京都	東松山工場	埼玉県
板橋スパイスセンター	東京都	宮城工場	宮城県

- 営業所

支店名	営業所名	所在地	支店名	営業所名	所在地
北海道	札幌	北海道	中部	静岡	静岡県
東北	北東北	岩手県		中部第1・第2	愛知県
	南東北	宮城県		北陸	石川県
東京	東部	千葉県	関西	関西第1・第2・第3	大阪府
	中央	東京都	中四国	中国第1	広島県
	西部	東京都		中国第2	岡山県
	神奈川	神奈川県		四国	香川県
関東・信越	関東	埼玉県	九州	九州第1・第2	福岡県
	新潟	新潟県		鹿児島	鹿児島県
	長野	長野県		沖縄	沖縄県

鶏ひき肉とじゃがいものキーマカレー

鶏ひき肉を使った、あっさりとした味わいのキーマカレーです。



※盛り付け例

調理時間 20分　1食分あたり 641kcal　食塩相当量 2.3g

材料（2人分）

鶏ひき肉	150g
玉ねぎ	中1個（200g）
じゃがいも	小1個（100g）
バター	10g
トマトの水煮缶（カット）	100g
S&Bドライキーマカレー	1袋（2皿分）
白飯	適量
S&Bパセリ	適量

※盛り付け例では、ベビーリーフを添えています。

作り方

【1】玉ねぎはみじん切り、じゃがいもは小さめの乱切りにします。
【2】フライパンにバターを熱し、じゃがいもを弱火でじっくりと、火が入りこんがりと色づくまでソテーして取り出します。
【3】空いたフライパンに玉ねぎ、ひき肉の順にいれて中火で3分炒め、トマト缶を入れてさらに2分炒めます。
【4】いったん火を止めて、ルウを加えてよく混ぜ合わせます。
【5】【2】のじゃがいもを加え、2分ほど混ぜながら炒めます。
【6】器に白飯を盛って【5】をかけ、パセリをふります。

ワンポイント じゃがいもは弱火でじっくり炒めて、おいしさを引き出すのがコツです。

このレシピはこちらから →

レシピに関しては、
以下の当社WEBサイトでご覧いただけます。
（https://www.sbfoods.co.jp/recipe/）

ドライキーマカレーをもっと楽しめる！アレンジレシピのご紹介



パウダータイプで使いやすく、お弁当にもおススメです！

鶏むね肉のカレーグリル

「甘口」を使えば、お子様のおやつにもおススメです！

プチお好み焼き



株主優待

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の事業内容をより一層ご理解いただけるよう、株主優待制度を実施しています。
毎年3月31日と9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1単元以上所有の株主の皆様に、当社製品の詰め合わせを贈呈しています。

継続保有期間	優待内容
3年未満	1,000円相当の当社製品
3年以上	2,000円相当の当社製品

詳細は以下ホームページでご覧いただけます。
https://www.sbfoods.co.jp/company/ir/info/benefitplan.html

2021年５月送付製品



1,000円相当株主優待品



2,000円相当株主優待品

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
定時株主総会 期末配当金基準日	3月31日（中間配当金は9月30日）	
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社	
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社　本店	
公告方法	電子公告 (URL: https://www.sbfoods.co.jp/) なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
各種お手続き	証券口座にて株式を管理されている株主様	特別口座に株式を所有されている株主様
住所変更	口座のある証券会社にお問い合わせください。	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社　代理人部 0120-707-843 (URL:https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html)
単元未満株式の 買取・買増請求		
配当金受取方法 振込先の指定等		
郵便物送付先		
電話照会先		
未払配当金の受取	上記、日本証券代行株式会社　代理人部までお問い合わせください。	

表紙のスパイスとハーブ
上段左から：バジル、カルダモン、ローズマリー、ブラックペッパー、イタリアンパセリ、サフラン
下段左から：唐辛子、セージ、クローブ、しそ、シナモン、スペアミント

Waterless Printing. Naturally.
VEGETABLE OIL INK
UD FONT by MORISAWA
植林木
この報告書は、森林資源を守る為に計画的な植林によって育てられた樹木を原料としたパルプを使用しています。